

Ocean Development

海洋開発



事業環境と実績

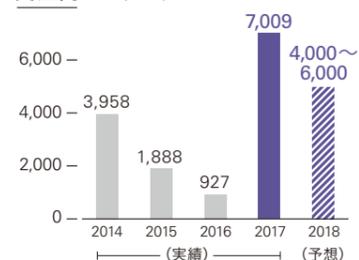
原油価格は、主要産油国による協調減産措置が継続されたことなどを背景に供給過剰懸念が和らぎ、WTIは2017年末にかけて上昇し、1バレル60米ドル台で推移しました。エネルギー資源の持続的な供給の観点から石油会社による海洋油田・ガス田の開発は継続的に行われると認識しており、FPSO（浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備）事業の中長期的な成長を期待しています。

このような状況にあって、当社グループは17中計に掲げた「グループ総合力の発揮による利益率の向上と収益安定化」の方針のもと、エンジニアリング部門によるFPSOトップサイド

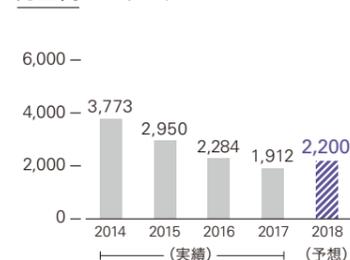
のEPC（設計・調達・建設）参入など、グループ全体で協業を強化していきます。

受注高は、大型チャータープロジェクト2件の新規受注、既存プロジェクトの仕様変更およびオペレーションサービスなどにより、前連結会計年度と比べて6,082億20百万円増加（+656.1%）の7,009億24百万円となりました。売上高は、FPSO建造工事の進捗が減少したことなどにより、前連結会計年度と比べて372億37百万円減少（△16.3%）の1,911億82百万円となり、営業利益は、前連結会計年度と比べて65億74百万円減少（△36.7%）の113億21百万円となりました。

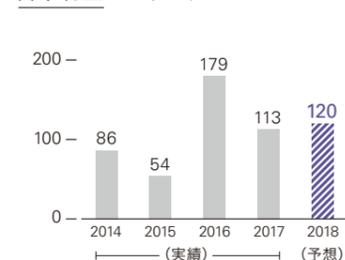
受注高（億円/年度）



売上高（億円/年度）



営業利益（億円/年度）



Our Action 変革への取り組み

Our Action 大型案件の連続受注による収益基盤の拡大

● ペトロbras社ブラジル沖合プレソルト層Sépiea鉱区向けFPSOおよびMero鉱区向けFPSO受注

三井海洋開発株式会社 (MODEC) は、ブラジル連邦共和国の国営石油会社であるPetróleo Brasileiro S.A. (ペトロbras社) より、FPSOの建造およびチャーター（リースおよびオペレーション）契約を2件連続受注しました。これら2基のFPSOは、いずれも日量18万バレルの原油生産能力を持つブラジルでも最大規模のFPSOとなります。ブラジルはMODECにとって最も重要な市場の一つであり、現在、ブラジルで生産されている原油量の約3割は、当社がオペレーションを行っている10基のFPSOと1基のFSOを通じて産出されています。2017年度、ペトロbras社から大型案件を連続して受注したことにより、来年度以降、当社の収益基盤は一層拡大できると期待しています。



2018年6月にブラジル沖合Tartaruga Verde / Mestiça鉱区にてペトロbras社向けのチャーターサービスを開始したMODECグループのFPSO

Our Action 海洋石油ガス業界において注目を浴びるFLNGプロジェクトの強化

● MODECの米国子会社SOFEC社、アフリカ地域初のFLNG用大型係留設備を受注

MODECの米国子会社であるSOFEC社は、アフリカ地域初のFLNG（浮体式液化天然ガス生産設備）用大型係留設備建造プロジェクトを受注しました。本FLNGは、イタリア炭化水素公社 (Eni) グループなどが出資するコーラルFLNG社により開発が進むモザンビーク共和国沖コーラルガス田向けに投入される洋上プラントであり、水深2,000mを超える深海ガス田向けとして世界初の事例となります。海洋石油ガス業界において注目を浴びるFLNGプロジェクトは、最終投資決定済みのものが本件を含め4件ありますが、SOFEC社はそのうち3件のFLNG向け大型係留設備を受注しています。



受注した浮体式生産設備の船体内部に組付けられる大型のインターナル・タレット (Internal Turret) (一点係留設備)

Our Action 日本とガーナの更なる関係強化と、医療研究の発展に貢献

● ガーナ共和国での感染症研究を支援

ガーナ共和国においてFPSOのチャーターサービスを提供している関連会社のT.E.N. Ghana MV25 B.V.社 (MV25社) は2018年5月、東京医科歯科大学がガーナ大学附属野口記念医学研究所共同研究センターで実施する感染症研究を対象にした寄付金25万米ドルを東京医科歯科大学に提供しました。当社はMV25社を通じて両国の医学研究の懸け橋となる拠点における研究への寄付金を提供し、日本とガーナ共和国の更なる関係強化と、医療研究の発展に貢献していきます。



MODECが設計・建造し、MV25社がチャーターサービスを提供している「FPSO Prof. John Evans Atta Mills」

Message

三井海洋開発株式会社 (MODEC) はFPSO、FSOおよびTLPと呼ばれる浮体式の海洋石油・ガス生産設備の設計・建造・据付・リースおよびオペレーションサービスをコアビジネスとして、海洋石油・ガス開発プロジェクトにかかわるトータルサービスを世界各国の石油開発会社に提供しています。私たちが取り組む「海洋・エネルギー」事業は、他の総合重機メーカーが持たない三井E&Sグループの重要な強みの一つです。三井E&Sグループには、船舶や機械の設計・建造の豊富な経験と卓越した技術の蓄積、そして海外グループ各社には発電やLNG（液化天然ガス）タンクのエンジニアリングという魅力的な事業モデルがあります。これらの強みの集合の海洋・エネルギー事業を融合し、当社も更なる企業価値の向上を目指します。

おかげさまで当社は、2018年に創立50周年を迎えました。海洋石油・ガス業界自体がまだ黎明期にあった半世紀前から海洋事業に特化し、様々な経験を経て現在では業界を代表する存在となっていることを誇りに思い、これからも社会の期待に応え続けます。



三井海洋開発株式会社 代表取締役社長 宮崎 俊郎